

レポート番号：#641

Connected &  
Mobility Services

# スマートメンテナンス&リペア

## コネクテッドカーデータの活用によるメンテナンスプロセスの変革

今日のアフターセールスにおいて、コネクテッドカーデータはメンテナンスの最適化やインシデントレスポンスの目的で活用されています。車載技術が進歩し、車両の生産方法からエンドユーザーと車とのかかわり方まで自動車のライフサイクルに不可欠なものとなる中、アフターセールス市場においても同様のシフトが起こりつつあります。

この分野は今、新しいAI対応技術やスマートリペアソリューションとの組み合わせにより、次の段階を迎えようとしています。予知保全などの技術は、現在一部のOEMによって導入されているものの、エコシステムはまだ成熟の初期段階にあります。このため同分野に参入しようとするプレイヤーは、これらのソリューションに適用される地域ごとの規制を理解するとともに、より広範なコネクテッドサービス事業戦略を策定する必要があります。

本書「スマートメンテナンス&リペア：コネクテッドカーデータの活用によるメンテナンスプロセスの変革」では、コネクテッドカーデータ市場の牽引要因とROIの可能性について概説し、AIなどの技術が将来的にどのような影響を及ぼし得るかを評価しています。また、アーリーアダプターのケーススタディなどを通じ、コネクテッドカーデータの価値や課題について考察しています。



### 目次

はじめに：各章の概要

要旨：概要と重要ポイント

基本情報：SMRの様々な世代を紹介

動機：SMRの利点、導入した場合の潜在的なコストへの影響

リードしている競合他社：現在、SMR事業に取り組んでいるプレイヤーとその活動内容、次世代サービスを推進しているプレイヤー、次世代SMR製品・サービス内容

ハードルの超え方：各ハードルについて詳説、各ハードルを克服するための推奨事項

今後のレース：SMRに関する発表、実現可能性の問題・および導入のタイミングへの影響、今後のレースの全体像

次のステップ：エキスパートの洞察

### 関連レポート

**Features-as-a-Service：FaaSがもたらす新たな自動車ビジネスのロードマップ**

レポート番号：639

本書では、FaaSエコシステムを深く掘り下げ、どの機能が最も成功し得るかを特定し、これまでのモデルの実際の成功事例の評価を行っています。また機能の商用化に成功したOEMおよび、この成功を再現しようとする他のOEMの取り組みを分析するとともに、FaaSモデルに対する消費者の意識に関するインサイトを提供します。

#### 対象市場

欧州 北米 中国  
日本 グローバル その他

#### レポート発行頻度

毎年更新 半年更新 四半期更新 毎月更新 1 ワンタイム

#### レポート形態

PDF PowerPoint Excel Online

#### ページ数

95

## 本書について（調査対象・範囲）

本書では下記について解説しています。

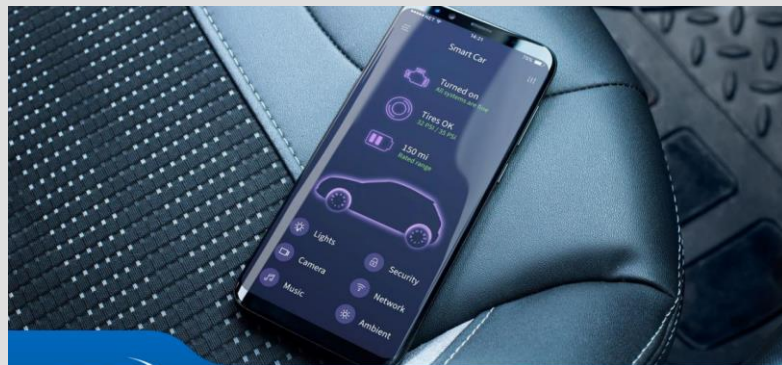
- > 予知保全の市場けん引要因およびROIとは？
- > 地域ごとの法規制面での課題とそれによる影響とは？
- > スマートメンテナンス&リペアをサポートするAIとAR（拡張現実）ソリューションの進捗状況
- > 修理プロセスの近代化において保険会社や規制当局はどのような役割を果たすのか？

## SBDカスタマーポータル

ご契約いただいたレポートへはお客様専用ポータルサイトからアクセスいただけます。

ポータルサイトのアカウントはご契約企業ごとに作成され、ご契約企業に所属する方であれば登録ユーザー数に制限はございません。

ご契約状況の確認や、ポータルサイトへの新規ユーザー登録をご希望の場合は、SBD Automotive ジャパンまでお問い合わせください。



2022年版  
スマートメンテナンス&リペア：  
コネクテッドカーデータの活用によるメンテナンスプロセスの変革  
グローバル

発行年月：2023年1月  
レポート番号：641-22

## 本書に関するお問合せ・お見積り依頼

「スマートメンテナンス&リペア：コネクテッドカーデータの活用によるメンテナンスプロセスの変革」

お問合せ・お見積り依頼



サンプルレポートの無料ダウンロード

